



## インドネシア海上保安機構に対する能力向上支援(結果概要)

～ 能力向上支援を通じ、インドネシアとの関係強化に貢献 ～

海上保安庁は、令和5年1月16日（月）から1月20日（金）までの間、外国海上保安機関に対する能力向上支援の専従部門「海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)」2名を、独立行政法人国際協力機構（JICA）の枠組みでインドネシアに派遣し、インドネシア海上保安機構（BAKAMLA）職員に対する能力向上支援を実施しました。

### 1 実施項目 逮捕術訓練

### 2 結果概要

被疑者などに危害を与えずに安全かつ確実に制圧する技術を向上させることを目的とした本訓練は、インドネシアではこれまでオンラインで実施していましたが、今回初めて対面で訓練を実施しました。BAKAMLA から10名の職員が参加し、基本の技を中心に訓練を重ねた結果、終了時には、切れのある体捌きも見られるようになりました。海上保安庁では、引き続き、各国海上保安機関への能力向上支援を行ってまいります。

※海上保安庁は、令和元年6月に署名された「日本国海上保安庁とインドネシア共和国海上保安機構との間の海上安全保障及び安全に関する協力覚書」(令和4年7月に更新され5年間延長)に基づき、令和2年からBAKAMLAとの協力を実施しております。本プログラムは、令和4年12月にJICAおよび海上保安庁とBAKAMLAとの間で実施された年次会合において合意された「2023年協力プログラム」の一環として実施されました。



オープニングセレモニー



逮捕術訓練の状況①



逮捕術訓練の状況②



訓練後の集合写真